

令和2年度

5～9月

- ・常設展「カメラがとらえた久留米の100年 私の街私の時代」

10月

- ・久留米市収蔵資料展2020「平和・祭典・人々の暮らし」



令和2年10月3日(土)～12月6日(日)

久留米市は市民の皆様からの寄贈や寄託によって地域の歴史資料を収蔵してきました。本展は、昭和戦前・戦後期の「平和・祭典・人々の暮らし」をテーマに本市の収蔵資料を公開する資料展です。

2021年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、平和の祭典であるオリンピックの歴史を人々のくらしの変化とともに振り返ります。

会期中には、1936年ベルリンオリンピック記念の市松人形や1964年東京オリンピックの聖火ランナーシューズなどを特別公開します。

12月

- ・高校生が描く世界人権宣言展／人権啓発センター

1月

- ・「鬼夜」写真パネル展

11～3月

- ・むかしのくらし展「着る・食べる・住まう」



令和3年1月23日(土)～3月21日(日)

今回の「むかしのくらし展」は、「着る・食べる・住まう」をテーマに、戦前から戦後の復興期、そして現代に至る久留米のあゆみを、服飾品や生活用品、写真など、貴重な資料が展示されます。